

平成24年多久市成人式を1月3日、中央公民館で開催しました。
新成人のみなさんは、華やかな振袖や羽織袴、真新しいスーツ
に身を包み出席。大人への門出の祝福を受け、支えてもらった
多くの人に感謝しながら決意を新たに社会人としての第一歩を
踏み出しました。

▼記念写真は、市から
出席者への贈り物です

祝 成人おめでとう



●特集● 平成24年多久市成人式 大人への門出 期待を胸に

20歳を祝い 20歳に誓う



懐かしの映像に、ドットと
歓声が沸き上がりました

この日、成人式を迎えたのは平成3年4月2日から平成4年4月1日までに生まれた236人。うち196人が出席しました。

会場では式典を前に、『Your brightest memories』と題したメモリアルビデオを放映。小中学校時代の懐かしい姿が学校ごとに映し出されると会場は、割れんばかりの歓声に包まれました。

式典では、横尾市長が東日本大震災の復興のために奮闘されている方やなでしこジャパンの諦めない心がいかに尊いかを伝えた後に、「仲間や自分の可能性を信じて夢をもって頑張ってください。また、どんな環境でも夢を求めていくハングリーさを忘れずに学んで欲しいです。そして、孔子様の教えにもある感謝の気持ち『礼』を忘れないでください。成人になるという大きなはじめを自分に刻むためにも、今日は、ぜひ、お父さん、お母さんに率直な感謝の気持ちを抱えましょう。社会で責任を持ってやっていくことを、改めて自分に誓うことができると思います」と話し、「今までの学びや経験をもとに伸びゆくみなさんの未来に期待します」とエールを贈

りました。

山本市議会議長も「みなさんには何ものにも代えがたい若い力と輝く未来があります。これからの人生に、誇りと責任を持って一歩一歩前進し、明日の社会を築く原動力になってください」と激励しました。この後、3人の新成人が代表で誓いの言葉を述べました。

式典の後には中学校区ごとの写真撮影があり、希望を胸に決意を新たにした晴れやかな瞬間を写真におさめていました。

成人式は、保護者の手を離れ、自分の意志で人生を歩み出すスタートであり、社会的な権利を手に入れるとともに、義務と責任を負うことへの宣誓の儀式。多久市では、県内でもいち早く、新年の帰省にあわせて行っています。

懐かしい友と久々の再会を喜び合った出席者は、時間が経つのも忘れ、写真を撮りあつたり、思い出話に花を咲かせながら、20歳の特別な時間を過ごしていました。

